

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

| | | | | | |
|-----------|-----|-----------------|------|-------|-----------|
| 評価対象事務事業名 | | 伝統産業振興事業 | | 事業コード | 2471 |
| 担当課等 | 所属名 | 商工観光部 商工課 | | 担当係名 | |
| | 課長名 | 商工観光部商工課長 沼田 秀彦 | 担当者名 | 伊藤 禎洋 | 電話番号 3712 |

1. 事務事業の基本情報

| | | | | | | |
|--|---|-------------|----------|-------------|------------------------------------|----------|
| 総合計画体系 | 施策の柱 | 活力ある産業の振興 | コード 5 | 施策 | まちに活力を与える工業の振興 | コード 2 |
| | 基本事業 | 中小企業の経営力の強化 | コード 4 | 関連予算 費目名 | 一般会計 7款 1項 2目 地場・伝統産業振興事業 (012-01) | |
| | 特記事項 | | | | | |
| 事業期間 | <input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和61年度～) | | | | | |
| 事務事業の概要 | 事業の実施により、市民の伝統工芸への理解と関心を高め、後継者育成、技術・デザインの向上、さらには伝統工芸品の販路拡大を図る | | | | | |
| 根拠法令等 | なし | | | | | |
| この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか) | | | | | | |
| 国指定の伝統的工芸品である南部鉄器は、製品の製作に特殊な技能を要する職人が必要とされている。伝統的技術の継承及び向上、後継者確保等を推進し、伝統産業の体質強化を図るために開始された。 | | | | | | |
| この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか | | | | | | |
| 伝統工芸は、市の工業の代表的なものであり、その技術習得には長い年月を要するほか、使い手にも良さを知っていただくまで時間がかかることから、じっくり時間をかけて取り組む必要がある。 | | | | | | |
| 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか | | | | | | |
| 伝統工芸産業はこれまでの伝統的技法による製品のみでは採算が合わなくなってきており、伝統的技法によらない多様な製品の研修開発が行われている。近年の厳しい経済環境や低価格製品の普及、生活様式の洋風化等により、伝統工芸業界は各地で苦戦しており、当市も例外ではないが、高い技術や品質、優れたデザインを理解する外国への輸出の動きも徐々に広がってきている業界や企業もある。 | | | | | | |

2. 事務事業の実施状況(Do)

| | | | | |
|-------------------------|--|---|--------------------------|---|
| ①対象 (誰を、何を対象としているのか) | 組合、業界団体等 | ⇒ | ②対象指標 (対象の大きさを示す指標) | A. 伝統的工芸品産業の組合・団体数(南部鉄器協同組合、岩手県漆器協同組合、岩谷堂単管生産協同組合) 単位 組合・団体 B. 伝統産業を含むの組合・団体数(工の会、いわてそめおりネットワーク、岩手県ホームスパン協同組合、岩手工芸美術協会、協同組合盛岡手づくり村、盛岡童芸会、協同組合岩手木工センター) 単位 組合・団体 C. 単位 |
| ③手段 (事務事業の内容、やり方、手順) | 22年度実績(22年度に行った主な活動) ①南部鉄器等の伝統的工芸品産業の若手職人で構成されるジバ・デザインプレナー塾を対象にセミナー及び展示会出展を中心とした後継者育成事業への補助支援を実施した。 ②生活用品である伝統的工芸品の一層の啓蒙普及を図ることを目的とする伝統的工芸品産業振興協会の会費の一部を負担した。 ③伝統的工芸品センター匠ステージへの南部鉄器出展支援した。 ④南部鉄器をより広く一般に紹介し、産地の宣伝とイメージアップを図ることを目的とする南部鉄器まつりの開催経費の一部を負担し、業界の振興を図った。 ⑤ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、国の伝統的工芸品である浄法寺塗の職人2名の育成を漆器製造企業に委託し実施した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①南部鉄器等の伝統的工芸品産業の若手職人で構成されるジバ・デザインプレナー塾を対象にセミナー及び展示会出展を中心とした後継者育成事業への補助支援を実施した。 ②生活用品である伝統的工芸品の一層の啓蒙普及を図ることを目的とする伝統的工芸品産業振興協会の会費の一部を負担。 ③伝統的工芸品センター匠ステージへの南部鉄器出展支援した。 ④南部鉄器をより広く一般に紹介し、産地の宣伝とイメージアップを図ることを目的とする南部鉄器まつりの開催経費の一部を負担し、業界の振興を図る。 ⑤ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、国の伝統的工芸品である浄法寺塗の職人2名の育成を漆器製造企業に委託し実施する。 | ⇒ | ④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標) | A. 市が主催、後援した業界または団体の催事数(工房まつり、南部鉄器祭り、いわてコレクション等) 単位 回 B. 市が主催、後援した技術・デザイン・販売等に関する研修会等の回数(ジバ・デザインプレナー塾・ファッションセミナー等) 単位 回 C. 単位 |
| ⑤意図 | 伝統工芸のイメージアップと市民の理解を深めることを | ⇒ | ⑥成果指標 | A. 催事の来場者数 単 人 |

| | | | | | |
|--|-------------------------|---------------|---|------------------------------------|---|
| (この事業により対象をどのように変えるのか) | 目的に事業実施し、各業界の活性化に結びつける。 | (意図の達成度を示す指標) | 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 | 位 | |
| | | | B. 研修会等の参加者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 | 単位 | 人 |
| | | | C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 | 単位 | |
| ⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか) | 魅力ある商品やサービスを提供できる | ⇒ | ⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標) | 経営改善等研修会の参加者数(商工会議所, 商工会など)(単位: 人) | |

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

| 区分 | 指標名 | 単位 | 20 年度実績 | 21 年度実績 | 22 年度計画 | 22 年度実績 | 23 年度計画 | 24 年度計画 | 目標年度 目標値 |
|-----------|---|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------------|
| 対象 指標A | 伝統的工芸品産業の組合・団体数(南部鉄器協同組合, 岩手県漆器協同組合, 岩谷堂単管生産協同組合) | 組合・ 団体 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 24年度 3 |
| 対象 指標B | 伝統産業を含むの組合・団体数(工の会, いわてそめおりネットワーク, 岩手県ホームスパン協同組合, 岩手工芸美術協会, 協同組合盛岡手づくり村, 盛岡童芸会, 協同組合岩手木エセンター) | 組合・ 団体 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 24年度 7 |
| 対象 指標C | | | | | | | | | 年度 |
| 活動 指標A | 市が主催, 後援した業界または団体の催事数(工房まつり, 南部鉄器祭り, いわてコレクション等) | 回 | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 24年度 3 |
| 活動 指標B | 市が主催, 後援した技術・デザイン・販売等に関する研修会等の回数(ジバ・デザインプレナー塾・ファッションセミナー等) | 回 | 1 | 4 | 5 | 3 | 5 | 5 | 24年度 5 |
| 活動 指標C | | | | | | | | | 年度 |
| 成果 指標A | 催事の来場者数 | 人 | 9832 | 34251 | 30000 | 21762 | 30000 | 30000 | 24年度 30000 |
| 成果 指標B | 研修会等の参加者数 | 人 | 90 | 23 | 20 | 15 | 20 | 20 | 24年度 20 |
| 成果 指標C | | | | | | | | | 年度 |

⑩事務事業に係る事業費

| 区分 | 指標名 | 単位 | 20 年度実績 | 21 年度実績 | 22 年度計画 | 22 年度実績 | 23 年度計画 | 24 年度計画 | ***** |
|----------|----------------------------|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------|
| 事業費 | A | 千円 | 1,050 | 551 | 5,139 | 5,136 | 5,680 | 600 | ***** |
| 財源 内訳 | ④国 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | ⑤県 | 千円 | | | 4,543 | 4,541 | 5,080 | 0 | ***** |
| | ⑥地方債 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | ⑦一般財源 | 千円 | 1,050 | 551 | 596 | 595 | 600 | 600 | ***** |
| | ⑧その他 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | 合 計 (④~⑧) (=A) | 千円 | 1,050 | 551 | 5,139 | 5,136 | 5,680 | 600 | ***** |
| | 延べ業務時間数 | 時間 | 17 | 48 | 168 | 168 | 168 | 48 | ***** |
| | 職員人件費 (B)(臨時職員賃金は, 事務費に含む) | 千円 | 68 | 192 | 672 | 672 | 672 | 192 | ***** |
| | トータルコスト (A) + (B) | 千円 | 1,118 | 743 | 5,811 | 5,808 | 6,352 | 792 | ***** |

3. 事務事業の評価(See)

| | | | |
|-------|--|--|---|
| 必要性評価 | ① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？ | <input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている | 理由: 事業の実施により、市民の伝統工芸への理解と関心を高め、後継者育成、技術・デザインの向上、さらには販路拡大に貢献していることから結びつくと考え。 |
| | ② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？ | <input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である | 理由: 伝統工芸は当市の歴史や風土を背景として生まれたもので、当市を代表する工業の一分野であり、ブランドリーダーとなっている業種もあるほか、重要な観光素材としても位置付けられているが、業界のみでは後継者育成、技術・デザインの向上、さらには販路拡大には限界があることから妥当であると考え。 |
| | ③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？ | <input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である | 理由: 実際に伝統工芸に取り組んでいる団体であり妥当である。 |
| | ④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？ | <input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である | 理由: 伝統工芸のイメージアップと市民の理解を深めることを目的に事業実施し、各業界の活性化に結びつけていることから現状で妥当と考え。 |
| 有効性評価 | ⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？ | <input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない | その内容: 事業の成果を向上させるために、伝統工芸関係者、交流団体数の増、または団体加入者の増、勉強会や出張機会を増やすことで成果を向上させることなど考えられるが、経費等の面からこれ以上の活動は厳しいと考える。 |
| | ⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？ | <input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある | その内容: 盛岡を代表する工業の一分野である伝統工芸の振興を図る唯一の事業であり、業界だけで事業展開するには限界があることから、廃止等の場合ものづくりの観点に留まらず、盛岡ブランドや観光をも含め相当の影響があるものと考え。 |
| | ⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？ | <input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない | 事業名: 国、県の伝統産業振興事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 伝統工芸は、市の工業の代表的なものであり、その技術習得には長い年月を要するほか、使い手にも良さを知っていただくまで時間がかかることから、市としては、経営者や職人とじっくり時間をかけ相互理解や信用を得ながら事業展開しており、県や国の事業とは時間軸等が異なり、統廃合・連携検討は難しい。 |
| 効率性評価 | ⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？ | <input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない | 理由: 現状においても各事業の経費節減に努めてきており、さらなる経費の節減に努めることは事業効果や成果の低下につながると考えられる。 |
| | ⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？ | <input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない | 理由: ふるさと雇用再生特別基金事業を活用した後継者育成事業など、業務量は増加しておりこれ以上の人件費の削減は困難である。 |
| 公平性評価 | ⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？ | <input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない | 理由: 伝統工芸製作を直接行っている団体または、伝統工芸の事業主や製造従事者が構成員となっている団体に補助することにより、伝統工芸への興味関心・普及拡大につながっており、受益機会は適正である。 |
| | ⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？ | | |

- 適正化余地がある
- 公平・公正である
- 特定の受益者はいない


⇒ 4. 事務事業の改革案へ

理由:既に事業実施主体も適正な相当額を負担していることから現状で妥当と考える。

4. 事務事業の改革案(Plan)

| | |
|---------|---|
| 改革／改善方向 | <p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 対象団体の運営や各催事が自前の予算で実施できること。また、必要に応じて団体数が増え、活発に活動でき伝統産業振興に結びつくこと。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 景気の低迷による売上低下や、洋風化・多様化の進展に対応する必要がある。消費者の動向の的確な把握、デザインの上向、海外展開も含めた販路の開拓が必要。</p> |
|---------|---|

5. 課長意見

| | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|---|--|-----------------------------|-----------------------------|---|--|--|-----------------------------------|
| 一次評価 | <p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p> | <p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>各種団体への支援を通じて南部鉄器等の伝統的工芸品産業振興を図った。今後とも後継者育成等の対策を継続して実施する必要がある。</p> | | | | | | | | | | |
| 今後の方向性と改革改善案 | <p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> | | <input type="checkbox"/> 終了 | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | → | <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) | <input type="checkbox"/> 廃止 | <input type="checkbox"/> 休止 | <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う | | | <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 |
| <input type="checkbox"/> 終了 | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | → | <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 廃止 | <input type="checkbox"/> 休止 | | <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う | | | | | | | | | |
| | | | <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | | | | |
| <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>従前の事業内容を継続するとともに、後継者育成や技能者顕彰等の対策を検討する。</p> | | | | | | | | | | | | |